

文化史基礎演習② 022 クラス 春・秋学期 木4 担当者：中井義明

授業の性格：研究入門的な性格の授業なので、論文の読み方、まとめ方、発表の仕方、質問の仕方、文献検索のやり方などを春学期の間に慣れてもらうメニューを他の基礎演習担当の教員と協力して作成。

ドクターのティーチング・アシスタントに授業に積極的に参加してもらって、図書館の案内と説明や歴史資料館への学生の誘導、ネット検索の講演と実習、資料の作成やレポート課題作成への参加、などに協力してもらっている。

授業の方法：春学期はこれから歴史学を学習し研究するのに必要な基礎的なレベルの事項に習熟し、秋学期に各受講生が選択した課題について発表するという形式をとる。

ポスターセッション方式の発表：今年度は実験的にポスターセッション方式による発表を授業の一部に導入しております。読んだ文献で注目した点を A4 版の紙にラッシュンペンで書き、そのポスターの前で 5 分間聞きに来た学生に説明し、続いて 10 分間質問を受けて答えるという発表形式です。

実施の評価：学生たちは積極的に発表と質問を行い、その効果はきわめて大きいと判断されます。

提供資料：春学期配布分の資料を提供しています。